

株式会社キャンバス

《証券コード: 4575》

2017年6月期第2四半期決算説明会

2017年2月21日

Part 1
2017年6月期第2四半期
決算報告



2017/6期2Q 決算報告

1. 決算のポイントとトピックス

■ 事業収益 55百万円

✓ Stemline社とのCBS9106提携に基づく収益

- 技術アドバイザリーフィー 前年同期より微増 50百万円→55百万円

■ 営業損失 219百万円

✓ 前年同期比増となった主な費用

- 研究費：研究用消耗品費を中心に微増 90百万円→97百万円
- 開発費：CBP501製造・製剤化費用・臨床試験準備費用で大幅増 2百万円→62百万円
 - ・ 期首予想 開発費147百万円(臨床試験1-2Q 開始想定)には至らず
- 販売費及び一般管理費：株式報酬費用分増加、他は微減 94百万円→114百万円

■ 資金調達の状況

✓ 第10回新株予約権(2015年7月割当、総額1,268百万円*)

* 当初行使価額1,160円で全新株予約権1,100千株分が行使された場合の差引手取概算額

- 2016年12月末までの行使・・・435千株（発行1,100千株に対し39.5%）調達累計 368百万円

2017/6期2Q 決算報告

2. 貸借対照表概要

		2016/6期末	2017/6期2Q	増減(参考値)
資産の部	流動資産	923,428	734,768	△188,660
	現金及び預金	815,110	713,992	△101,118
	売掛金	56,202	1,506	△54,696
	固定資産	43,844	40,717	△3,127
	有形固定資産	23,025	20,062	△2,963
	資産合計	967,273	775,486	△191,787
負債の部	流動負債	38,135	37,511	△624
	固定負債	—	—	—
	負債合計	38,135	37,511	△624
純資産の部	株主資本	902,535	692,500	△210,035
	資本金	3,974,048	3,974,048	—
	資本剰余金	3,960,898	3,960,898	—
	利益剰余金	△7,032,195	△7,242,230	△210,035
	自己株式	△215	△215	—
	新株予約権	26,602	45,473	18,871
純資産合計		929,138	737,974	△191,164

(単位:千円)

Stemline社 技術アドバイザリーフィー

2017/6期2Q 決算報告

3. 損益計算書概要

(単位: 千円)

	2016/6期2Q	2017/6期2Q	増減(参考値)
事業収益	50,543	55,304	4,761
事業費用	186,903	274,456	87,553
研究開発費	92,933	160,178	67,245
販売費及び一般管理費	93,970	114,277	20,307
営業利益	△136,359	△219,151	△82,792
営業外損益	△2,229	9,741	11,970
経常利益	△138,589	△209,410	△70,821
特別損益	—	—	—
税引前四半期純利益	△138,589	△209,410	△70,821
四半期純利益	△139,214	△210,035	△70,821

基礎研究費・開発費
ともに増加

為替差益

2017/6期2Q 決算報告

4. キャッシュフロー計算書概要

(単位: 千円)

	2017/6期2Q
営業活動によるキャッシュ・フロー	△111,082
投資活動によるキャッシュ・フロー	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	—
現金及び同等物に係る換算差額	10,265
現金及び同等物の増減額	△101,117
現金及び同等物の期首残高	815,110
現金及び同等物の期末残高	713,992

為替差益

2017年6月期 業績見通し

(単位:百万円)

	2016年6月期 実績	2017年6月期 期首見通し	2017年6月期 見通し(修正※)
事業収益	105	105	110
事業費用	504	735	574
研究開発費	316	498	341
販売費及び一般管理費	188	236	233
営業利益	△399	△630	△465
経常利益	△413	△630	△466
当期純利益	△414	△631	△467

※ 2017年1月4日業績予想修正公表

2017年6月期 業績見通し

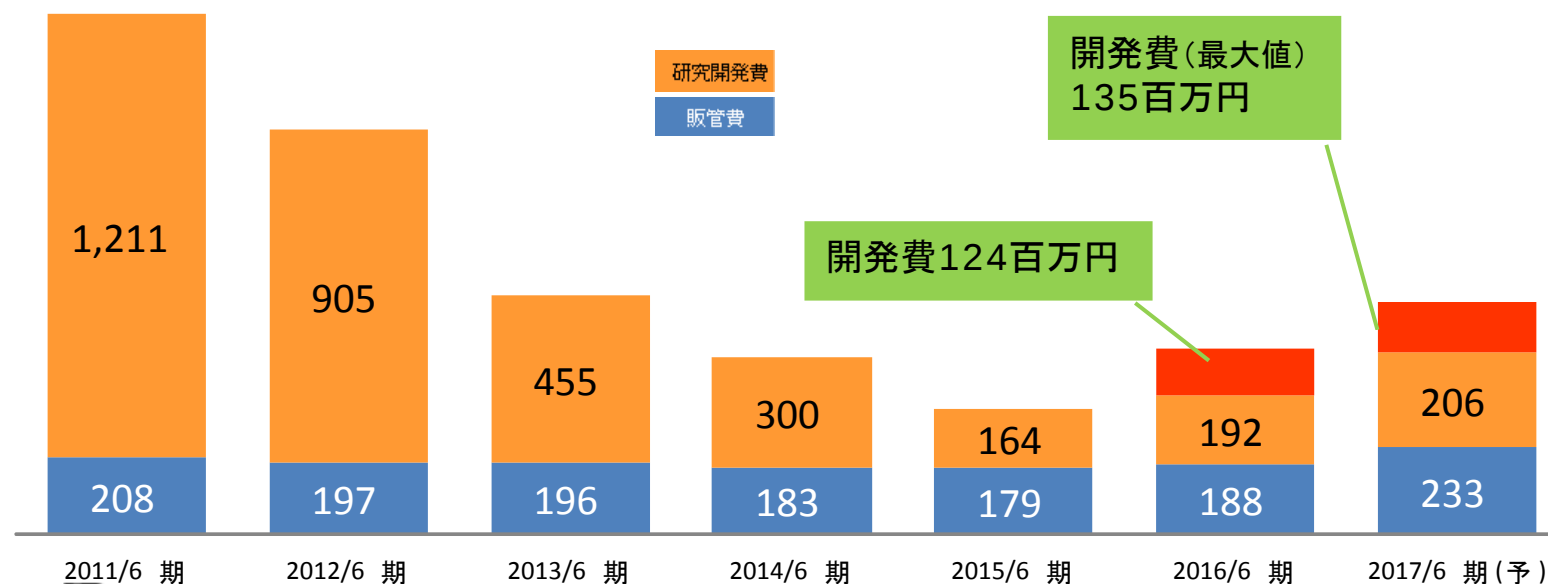
業績見通し修正後

■ 事業収益：110百万円

- ✓ 特殊な事態が発生しない限り見込むことのできる最小値

■ 事業費用：574百万円

- ✓ 研究開発費 341百万円（基礎研究費等206百万円＋開発費の最大値135百万円）
 - フェーズ1b試験の開始を3～4Q に見込む
- ✓ 販売費及び一般管理費 233百万円



Part 2
2017年6月期第2四半期
事業報告



資金使途変更 (2016年9月27日)

- ✓ 資金調達(2015年6月)時に想定していた試験: フェーズ2b試験
- ✓ この時点から臨床試験準備を本格化

CBP501学会発表 (2016年9月29日)

- ✓ AACR主催の癌免疫・免疫治療に関するカンファレンス
- ✓ CBP501が担癌マウスへの免疫チェックポイント抗体の効果を増強するメカニズム
→フェーズ1b試験(免疫系抗癌剤+化学療法+CBP501)の根拠となる重要な知見

CBS9106(SL-801) 関連

- ✓ 臨床第1相試験は第5群まで進捗 (Stemline社Corporate Presentationによる)
※当初計画のPh1の半分強が進捗。そろそろ何か見え始めているかもしれない
- ✓ 同社の最先行化合物SL-401との相乗効果をASHで発表(2016年12月8日)

2017/6期2Q 事業報告

■ 開発パイプラインの状況

➤ CBP501

- 新規提携獲得活動・・・交渉進行するも成果には至らず
 - ✓ 話の段階はいろいろ(前から話している先・新たに始めた先など)
- 臨床試験準備
 - ✓ フェーズ1b試験準備は(最速ではないが)順調に進捗
 - ✓ 開始時期は今期3-4Q(P.12「中期活動計画進捗」で詳述)

➤ CBS9106

- 提携先Stemline社による臨床試験進捗

2017/6期2Q 事業報告

■ 後続パイプラインの状況

		探索・創出	最適化	前臨床試験
自社創出	CBP-A ※501の系譜・発展形			
	CBP-B ※501の研究から派生しているが全く異なる			
ファルマバレーとの共同研究	IDO/TDO阻害剤 ※IDO/TDOはPD-1・PD-L1などに続く有望な免疫系抗癌剤の標的分子			
	(ターゲット非公表) ※まだタネの段階。いつ当たりが出るかはクジを引いているような状態			

CBP501: 臨床試験の開始

✓ 準備のポイント

- 地域(非公表)ごとに一長一短あるので複数の地域での検討を進めている

✓ 準備の進捗状況

- 最速ではないが順調
- 当初スケジュールが「すべて理想的に進んだケース」の想定。心配されるような致命的なトラブルは起きていない

✓ フェーズ1b試験開始の見通し・公表タイミング

- 公表タイミングは各社異なる
- 当社では、治験届を出して規制当局から「待った」がかからないと確定した時点を公表タイミングとする

■ 後続化合物創出：少なくとも1つ開発候補化合物を確定

✓ 開発候補化合物確定への道筋

- 今のところ目標通り(今期中の確定)行ける見込み
- CBP501のこれまでの経験を踏まえ、少なくともCBP501よりも上を行くもの(具体的な内容や数値は現時点で非公表)が得られる時点を「確定」としている

✓ 進捗状況

- 今期中に確定可能なペースで進行中

✓ 確定の見通し・公表タイミング

- ベスト化合物が確定した時に公表する
- 前臨床試験を実際に開始するためには大量合成などの資金需要が生じる

各共同研究の進捗状況

- ✓ 膵臓癌発症モデルマウスによるCBP501薬効試験
 - ✓ 東京大学医学部附属病院(2016年3月～2017年3月)
 - 米国ではプラチナ製剤が膵臓癌に適応になっていないので開発のためには証拠が必要
 - 自然発症なので癌周辺の微小環境での効果を見ることができる
 - 人間の臨床試験に近い期間がかかってしまう(1/4の確率でしか生まれない)
 - 進めて来た予備実験の好感触を踏まえて現在は本試験中だが、時間がかかるので共同研究期間の延長を計画中
- ✓ 県環境衛生科学研究所の化合物ライブラリーを用いた新規抗癌剤創出
 - ✓ ファルマバレープロジェクト(2016年4月～2018年3月)
 - くじを引くような話なので「いつ」とはいえない
- ✓ IDO/TDO阻害剤候補化合物の構造最適化および評価
 - ✓ ファルマバレープロジェクト(2016年7月～2018年3月)
 - 最適化段階。当社では薬効の評価をしていく



■ 将来見通し等に関する注意事項

- 本資料は、当社に関する情報の提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。
- 本資料における将来予想・見通し等に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。
- 業界等に関する記述につきましても、信頼できるとされる各種データに基づいて作成しておりますが、当社はその正確性・完全性を保証するものではありません。
- 本資料は、受領者がいかなる目的にご利用される場合においても、本資料受領者ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。

■ お問い合わせ先: 株式会社キャンバス 管理部 IR担当
電話 055-954-3666 Email IR@canbas.co.jp